

# アクティブ英語研修 留学先の気候について



## カナダ

夏のカナダは平均気温20~30度と言われており、近年の日本の酷暑と比べると過ごしやすい気候です。特にカルガリーは、カナダの中で最も晴天率の高い地域の一つです。夏のカナダは日差しが強いでUVカット対策、帽子やサングラスなどは必要でしょう。トロントは比較的湿度が高く、突然の雨もあるので折り畳み傘があると安心です。また、どの地域でも朝晩の寒暖差や肌寒い日がありますので、重ね着のできる衣類があると安心です。



## アメリカ

アメリカ西海岸は、年間を通して天気が良く、温暖で過ごしやすいのが特徴です。雨も少なく、平均気温は25~28℃と日本のような猛暑日は少ないと言われています。但し、日差しが強いでUVカット対策、帽子やサングラスの準備が必要でしょう。また、朝晩の寒暖差や肌寒い日がありますので、重ね着のできる衣類があると安心です。



## オーストラリア

オーストラリアは南半球に位置するため、日本とは季節が真逆となり、6月~8月は冬となります。ブリスベン、シドニーは平均気温10℃前後、メルボルンは平均気温5℃前後と日本の冬に近い気候と言われています。但し、朝晩の寒暖差が大きいので、衣類による防寒対策や体調管理に留意する必要があります。また、アウトドアのアクティビティに参加する際は重ね着できる防寒衣類や手袋など防寒具の準備も必要となるでしょう。



## フィリピン

フィリピンは気温も湿度も高い熱帯モンスーン気候で8~9月の平均気温が26~30℃と言われています。6~11月は雨季のため、明け方や夕方に突然スコールが降ることがあります。日本の夏に近い蒸し暑い夏の気候のため、教室や市内のショッピングなど冷房が効いていますので、羽織る衣類があると安心です。昼間は日差しが強いでUVカット対策、帽子やサングラスの準備が必要でしょう。



## 英国

一般的に、日本と比べて曇りがち、雨が多い、霧、湿度が高いなどのイメージのイギリスですが、晴れた日は夏の北海道のような過ごしやすさがあるとも言われています。日本のように暑い日がありますが、蒸し暑さは少なく、8月下旬になると、夜は肌寒さを感じることもあります。また、日本と比べて日照時間が少ないイギリスでは、夏の日中でも日によって寒暖差が大きい場合があるので、長袖やジャケットなど服装に留意する必要があります。



## ドバイ

ドバイは4月~10月が夏季で、8月は気温が35℃を上回るのが「普通」、40℃以上も当たり前と言われております。また日差しも強く、日本以上に湿度が高い夏のドバイでは、教室やショップ、観光施設内はかなり冷房が効いており、体感温度の乱高下が激しくなりますので、重ね着できる長袖やジャケットなども必須となります。日中は十分なUVカット対策や熱中症対策が必須となります。



## マルタ

夏のマルタは地中海性気候で降水量も少なく、8月は30℃前後の真夏日が続きます。夏のマルタは乾燥シーズンで日照時間も長いので、日中は帽子やサングラス、UVカット対策が必須です。また、海に囲まれているマルタですが、日本よりも乾燥しているのでスキンケアにも配慮が必要です。日中は学校やショップなど屋内はかなり冷房が効いているので、長袖やジャケットなどがあると安心でしょう。晴天が多い夏のマルタではイベントも多く、花火大会や音楽イベントなどが開催されますので、浴衣や草履、扇子などを持参すると交流のきっかけになるかもしれません。